

主題: TRIZ思考で、プロセスを変える、夢をかなえる!

プログラム案

2012. 8. 26 第4次公表(案) 【今後変更されることがあります】

**第1日 9/6(木)**  
(セミナーの日) (A)(B)

**第2日 9/7(金)**  
(コンファレンスの日) (C)

**第3日 9/8(土)**  
(コンファレンスの日) (C)

会場: 早稲田大学 理工キャンパス 55号館  
(東京都新宿区大久保3-4-1)

受付開始 (8:30)

受付開始 (8:15)

<p>9:00 受付開始 (9:20)</p> <p><b>(A) セミナー(日本語)</b></p> <p><b>J105</b> チュートリアル 笠井 肇 J (アイデア) TRIZの基本と活用</p> <p>11:00</p> <p><b>(B) セミナー(英語)</b></p> <p><b>E102</b> アドバンスセミナー Denis Cavallucci E (フランス) TRIZから IDMへ (発明的設計法) R&amp;Dにおける 発明の実践</p> <p>12:00 昼食 (60分) (食堂: 63号館1階「馬車道」)</p> <p>13:00</p> <p><b>J106</b> テーマ講演 a J(E) 黒澤 慎輔 物理的矛盾とその解決</p> <p>14:00</p> <p><b>J107</b> テーマ講演 b J(E) 菊池史子 (パイオニア) 企業における TRIZ適用成功事例</p> <p>15:00</p> <p><b>J108</b> テーマ講演 c1 J(E) 中川 徹(大阪学院大) TRIZの教育と演習</p> <p><b>J109</b> テーマ講演 c2 J(E) 池田昭彦 (神奈川工大 &amp; ソニー) 大学院での創造性演習</p> <p>17:00</p> <p><b>J104</b> 特別講演 2 JE 弓野憲一(静岡大学 &amp; 日本創造学会) 創造性を教育する 一創造技法普及の土台作り</p> <p>18:00</p> <p><b>夕食 &amp; グループ討論</b> (食堂: 63号館1階「馬車道」) <b>(A)(B)(C) 合同</b> グループ1: TRIZの拡張・展開と企業での実地応用 E(J) グループ2: 企業におけるTRIZの導入・適用・普及のために J グループ3: 若い人たちにTRIZを伝える、教えるには? E,J, J 終了 20:00</p>	<p>9:00</p> <p>9:00 プレセッション (英語) E 参加者の自己紹介</p> <p>9:55 事務連絡。10:00 開会 xx</p> <p><b>J01</b> 開会挨拶 林 利弘 (日本TRIZ協会 理事長) JE</p> <p><b>J03</b> 挨拶 山川 宏 (早稲田大学 理工学術院長) JE</p> <p><b>E01</b> 基調講演 EJ Denis Cavallucci (INSA Strasbourg, フランス) R&amp;D実践のパラダイム変換に、 TRIZはどのように貢献できるか</p> <p><b>E03</b> 特別講演1 Jeongho Shin (韓国) EJ やさしく、楽しいTRIZ (「TRIZ発明原理の歌」)</p> <p><b>J14</b> O-1 高木芳徳 (ソニー) 発明原理のシンボル表現 JE</p> <p>12:00 写真撮影</p> <p>13:00 昼食 (65分) (食堂: 63号館1階「馬車道」)</p> <p>13:40</p> <p><b>O-2</b> 緒方隆司 (オリンパス) JE</p> <p><b>O-3</b> E. Khalifeh EJ (エルサレム) TRIZ等科学手法の社内推進(2) 技術 課題の見える化</p> <p><b>O-4</b> 永瀬徳美 (ソニー) JE</p> <p><b>O-5</b> J.Y. Han(韓国) EJ</p> <p><b>O-6</b> 稲谷 茂 JE (山口大学) 「創成デザイン工学」プロジェクトでの 教育</p> <p><b>O-7</b> K.S. Kim (韓国) EJ</p> <p><b>O-8</b> 清瀬 学 (パナソニック) JE</p> <p><b>O-9</b> 石井力重 JE (アイデアプラント) TRIZのカードを用いたアイデア創出 ワークショップ</p> <p><b>O-10</b> 伊沢久隆 (ソニー) JE</p> <p><b>O-11</b> 小野修一郎 JE (千葉工大) 創造の方程式 - 地域産業の人材育 成プログラム</p> <p><b>O-12</b> 井坂義治 (アイデア) JE</p> <p><b>O-13</b> S.H. Yoo (韓国) EJ</p> <p><b>O-14</b> 山本拓司 JE (伸和コントロールズ) 空調装置の小型化</p> <p><b>O-15</b> M.A. de Carvalho EJ (ブラジル) IDEATRIZ: 新商品創出の方法とツール</p> <p><b>O-16</b> 越水重臣 JE (産業技術大学院大学) TRIZ/USITの演習教育</p> <p><b>O-17</b> 泉 丙完 (泉精器) JE</p> <p>18:00</p> <p><b>夕食 &amp; 交流会</b> (食堂: 63号館1階「馬車道」) <b>E &amp; J</b> 終了 20:30</p>	<p>9:00</p> <p>日本TRIZ協会 総会 J</p> <p>9:00</p> <p><b>O-18</b> 黒澤慎輔 ( ) JE</p> <p><b>O-19</b> 牧野公一 JE (早稲田大)</p> <p><b>J27</b> 学問としてのTRIZ</p> <p><b>O-20</b> 中川 徹 JE (大阪学院大)</p> <p><b>O-21</b> 古本 武司 JE (産能大)</p> <p><b>J08</b> 複数モデルによる問題の捉え方</p> <p><b>O-22</b> 澤口 学 (早稲田大) JE</p> <p><b>O-23</b> 石田俊介 JE (レゾナンス特許事務所)</p> <p><b>J20</b> イノベーション力を促進する技術 者教育</p> <p><b>O-24</b> 中三川哲朗 JE (日立)</p> <p><b>O-25</b> 長谷川浩志 J (芝浦工大)</p> <p><b>J22</b> シンプルな未来技術予測手法</p> <p><b>J06</b> アイデアの評価方法</p> <p><b>J07</b> 業務活動におけるボトルネックの解決</p> <p><b>J08</b> 発明戦略のためのI-TRIZ活用</p> <p><b>J26</b> 「質的变化」を促す創造的思考プロセス</p> <p>12:00 昼食 (60分) (会場にて 弁当)</p> <p>13:00 <b>ポスターとデモ</b></p> <p><b>J09</b> 長谷川公彦 (知財分科会) 発明の価値評価 J</p> <p><b>J11</b> 高原利生 ( ) 根源的網羅思考と矛盾 JE</p> <p><b>J15</b> 牧野泰文 (MPUF USIT研) リスクマネジメントへの応用 JE</p> <p><b>E01</b> S. Khandipanichakul (タイ) TRIZと Enneagram EJ</p> <p><b>E02</b> V. Sereeviriyakul (タイ) 屋根タイルの出荷 パッケージングの問題解決 EJ</p> <p><b>E04</b> K. Noorit (タイ) WPC材の表面処理プロセスの改良 EJ</p> <p><b>E07</b> E.Khalifeh (ヨルダン) xTRIZのビジネス応用 EJ</p> <p>15:00</p> <p><b>O-26</b> 岡田 聡 (日立) JE</p> <p><b>O-27</b> 古謝秀明 JE (USITものづくり)</p> <p><b>J21</b> TRIZとKT法との融合活用</p> <p><b>J23</b> 強力な技術包囲網を構築する方法</p> <p><b>O-28</b> 小林久朗 (THK) JE (MPUF USIT研)</p> <p><b>J13</b> 液体槽の免震化へのUSIT適用 (調整中)</p> <p>16:00</p> <p><b>テーマ討論/まとめ</b> 司会 中川 徹 JE 「若々しいTRIZ」のために</p> <p><b>J102</b> 閉会挨拶 三原祐治 (日本TRIZ協会 副理事長)</p> <p>終了 16:40</p>
--	--	---

凡例 (休憩時間): xx 20分、x- 15分、x 10分  
===== : 5分 休憩 (会場移動の余裕)

<b>(参加種別)</b>	<b>凡例 (種別)</b>
<b>(A) セミナー (日本語)</b>	チュートリアル
<b>(B) セミナー(英語)</b>	テーマ講演
<b>(A)(B)(C)合同</b>	アドバンスセミナー
	特別講演
	グループ討論

<b>(C) コンファレンス (日本語&amp;英語)</b>	開会/閉会/協会総会
	基調講演
	特別講演
	一般発表 (オーラル)
	ポスター、デモ
	夕食 & 交流会

凡例(発表・投影言語)

- J 日本語のみ
- J(E) 日本語発表、投影。英語はUSB収録。
- JE 日本語発表、並行投影
- EJ 英語発表、並行投影
- E 英語のみ

注: スペース制約のため、発表者名、所属名を簡略に記述しています。

発表テーマも正式題名でなく、分野や特徴をキーワードで記述しました。

発表コード番号J101、J01、E01などは、アブストラクト集上での、発表番号です。

発表コード番号のセルをクリックすると、その発表の和文スライドファイルPDFを参照できます。